
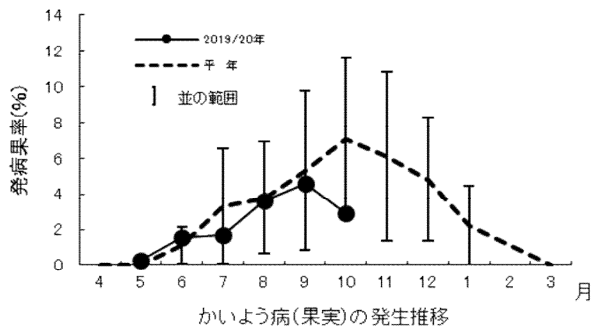


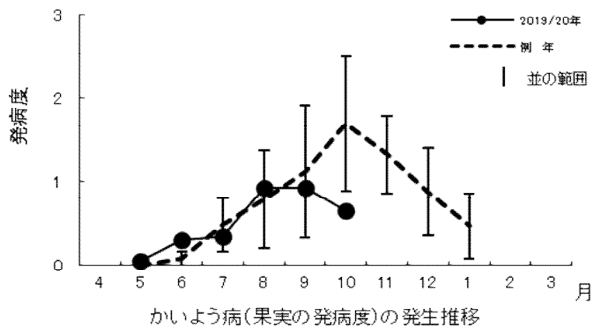
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
予報	11 月の発生量 (平年比)	並	
	10 月からの増減傾向	↘	
予報の根拠	10 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果

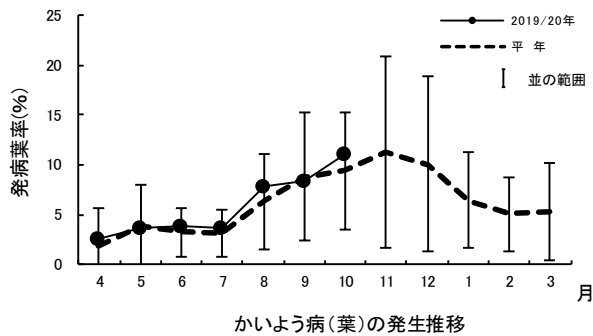
(発病果率)



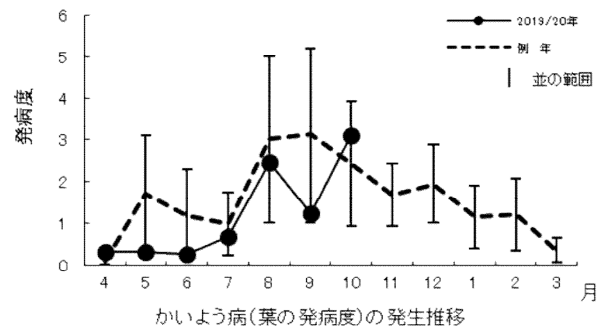
(果実の発病度)



(発病葉率)



(葉の発病度)




- ・ 病害虫防除員報告：中発生（本島北部）

防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。

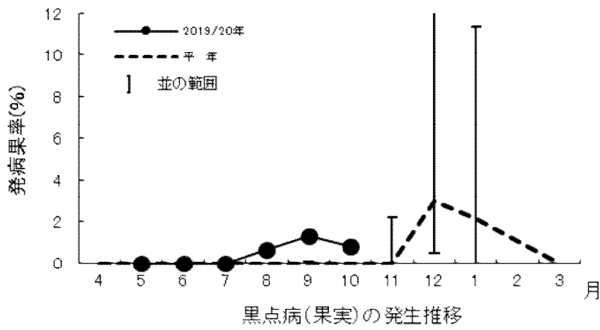
被害葉→



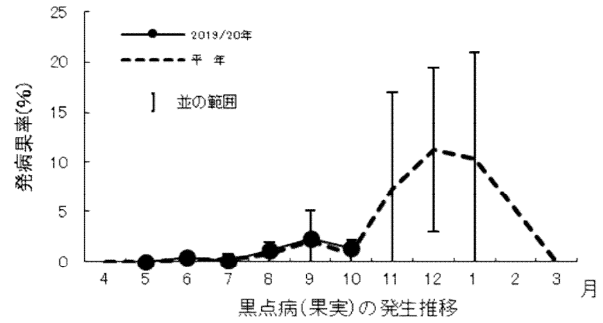
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島	
病害虫名	② 黒点病			
予報	11 月の発生量 (平年比)			やや多
	10 月からの増減傾向			↗
予報の根拠	10 月の発生量 (平年比)	やや多		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗)		

調査結果

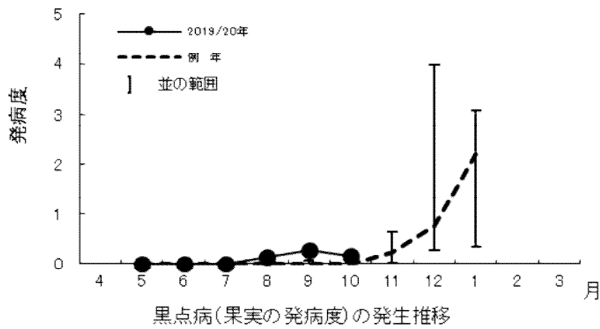
(発病果率/中央値)



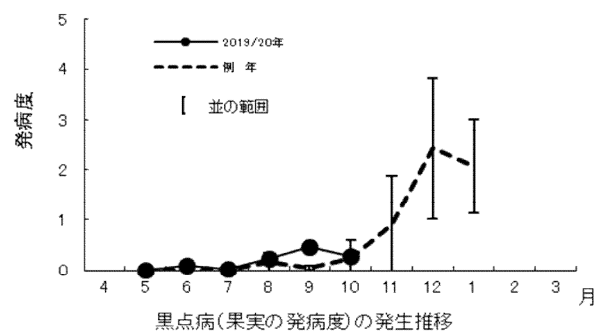
(発病果率/算術平均)



(果実の発病度/中央値)



(果実の発病度/算術平均)



- ・ 病害虫防除員報告：中発生（本島北部）

防除のポイント

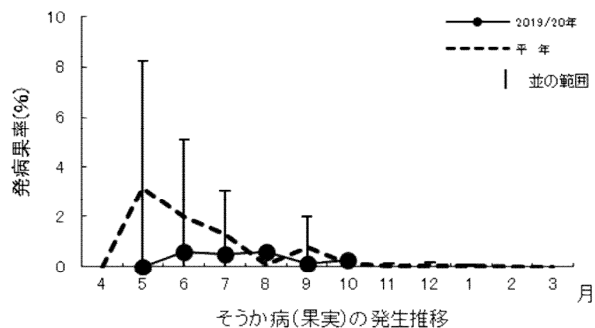
- ・ 周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。
- ・ ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ そうか病		
予報	11 月の発生量 (平年比)	並	
	10 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	10 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (→)	

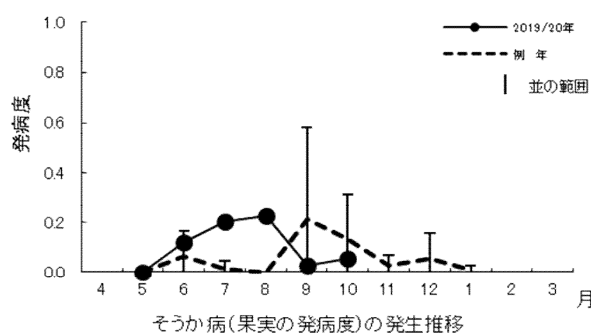


調査結果

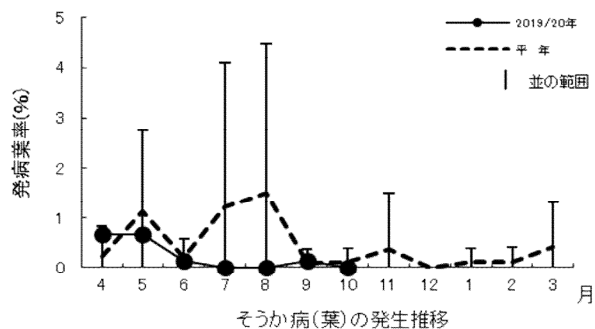
(発病果率)



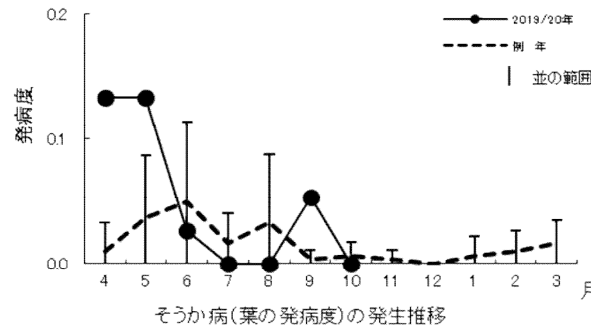
(果実の発病度)



(発病葉率)



(葉の発病度)



防除のポイント

- ・罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

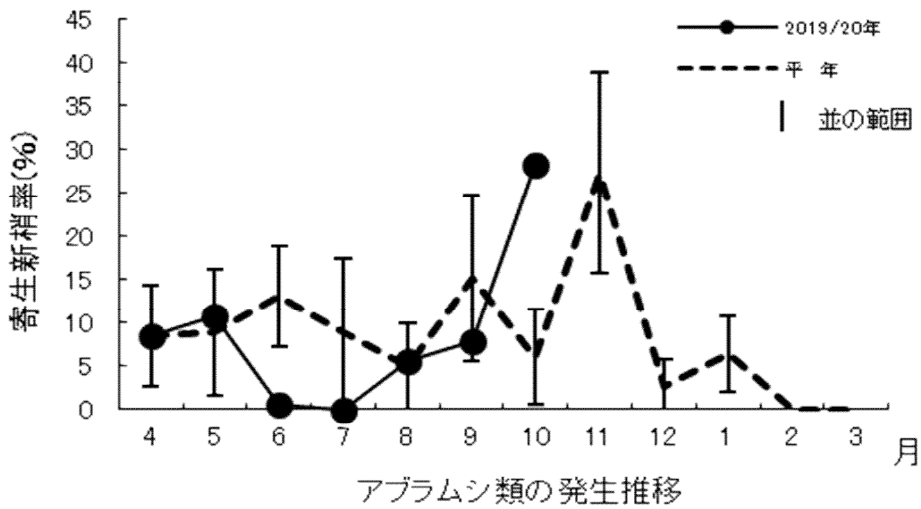


被害葉→

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	④ アブラムシ類		
予報	11 月の発生量 (平年比)	並~やや多	
	10 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	10 月の発生量 (平年比)	やや多	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗) 新梢の発生量が減少するため	




調査結果



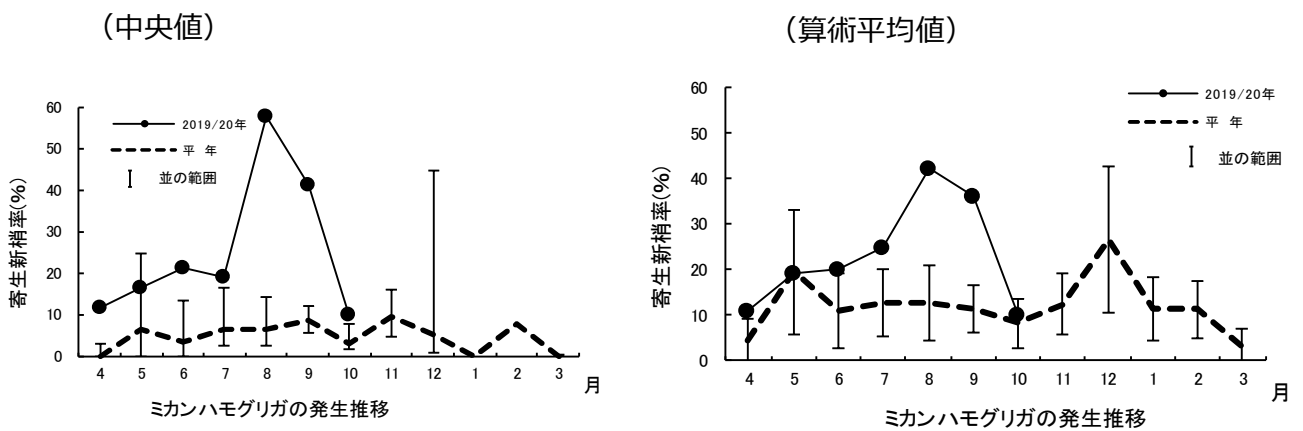
防除のポイント

- ・テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。




作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	⑤ ミカンハモグリガ		
予報	11 月の発生量 (平年比)	並~やや多	
	10 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	10 月の発生量 (平年比)	やや多	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗) 新梢の発生量が減少するため	

調査結果

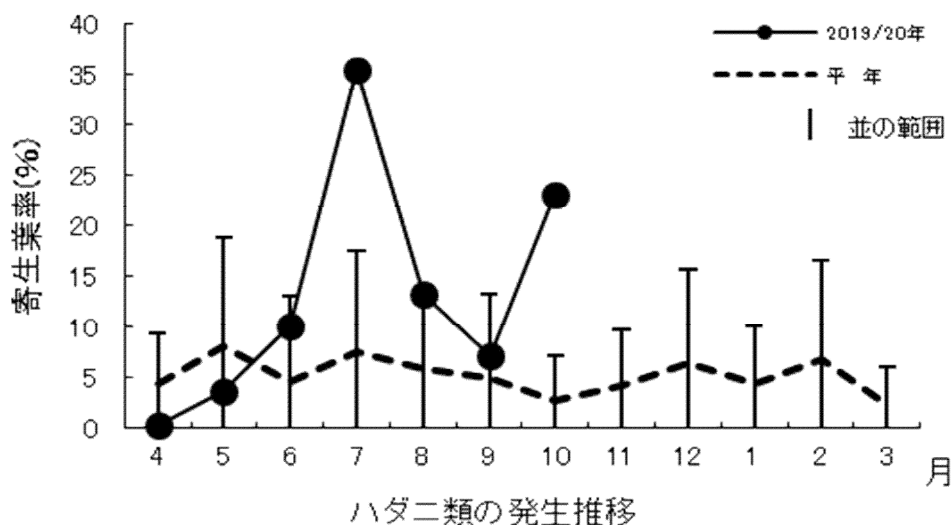


防除のポイント

- ・被害葉にかいよう病が発生しやすく、伝染源になるので除去に努める。
- ・被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	⑥ ハダニ類		
予報	11 月の発生量（平年比）	多	
	10 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	10 月の発生量（平年比）	多	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗） 今後 1 か月の気温が平年より高い見込み	

調査結果



防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状